



2019年8月5日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。FOMC（米国連邦公開市場委員会）の決定を受けた米ドル高の進行や、トランプ米国大統領が中国に対する追加関税を表明したことでリスク回避の動きが進んだことなどから、新興国通貨全般が売られブラジル・レアルも下落しました。

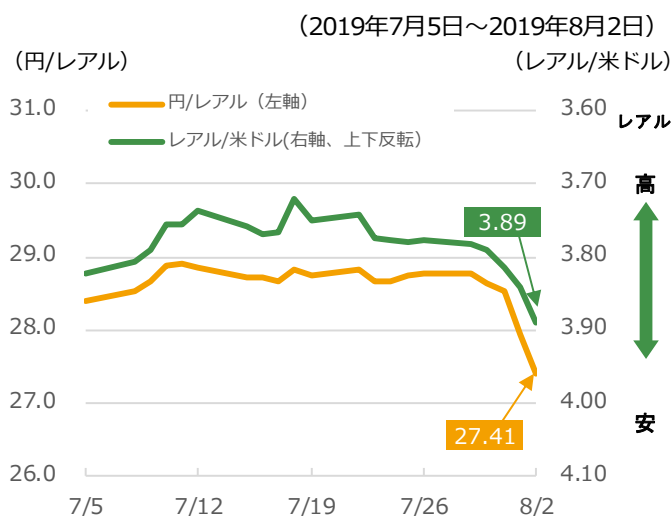
経済指標に関しては、6月の鉱工業生産や7月の製造業PMI（購買担当者指数）などが発表されました。鉱工業生産は前月比-0.6%と引き続き弱い内容となり、製造業PMIも前月から低下し、景況感の改善と悪化の分岐点である50を下回りました。また、ブラジル中央銀行からは政策金利の発表が行われ、政策金利は0.5%引き下げられ6.0%となりました。

今週の見通し

今週はIPCAインフレ率や小売売上高、サービス業PMIなどの経済指標の発表が予定されています。

今週からは年金改革法案の審議が再開されるため、今後は再び法案の審議に注目が集まると考えます。足元、リスク回避の動きからブラジル・レアルは売られています。年金改革法案の審議が順調に進めば、ブラジル・レアルは底堅く推移するとみており、引き続き審議の動向を注視したいと思います。

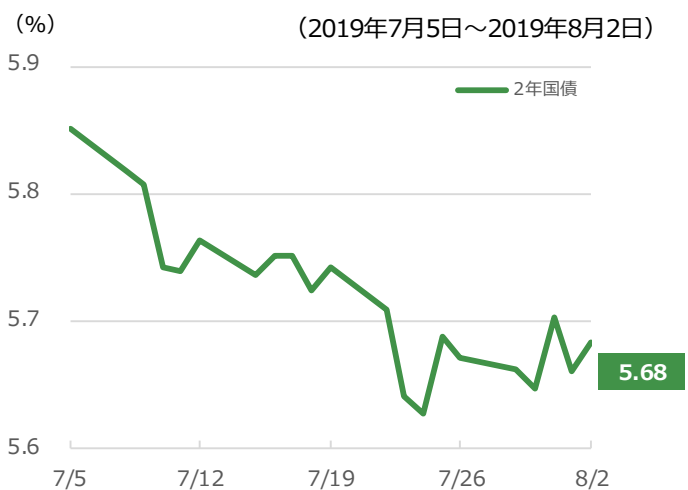
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。